



発行日
令和7年
9月1日

一ツ木ニュース

一ツ木自治会
公民館
奉賛会

神明社「行者堂」で「役行者講」開催8月3日(日)



神明社境内の東側中央に建立された「行者堂」にある額によると、このお堂には「役行者(えんのぎょうじゃ)」が祭られ、天明年間に荒井、本郷、新町の有志によって建立されたと、記してあります。天明年間とは、大河ドラマ「べらぼう」の田沼意次の時代です。

その後、一ツ木では「役行者講」が結成され代表者が「大峰山」に代参登山していました。代参者は一週間前から家族と離れ神明社務所で過ごし、逢妻川で水垢離、精進潔斎し道中の安全を祈願した後、山伏の装束で身を固め大峰山を徒歩で往復していました。

尚、現在のお堂は令和2年5月に再建されたものです。

一ツ木盆踊り(8月2日・3日)開催、刈谷わんさか祭り盆フェス(8月15日)参加

一ツ木盆踊りは、8月2日・3日に5丁目の天王公園で開催され多くの方に参加頂きました。又、刈谷市主催のわんさか祭り盆フェスでは刈谷の各種団体が参加され、一ツ木からは民謡愛好会と有志の方8名がやぐらの上で「炭坑節」を踊りました。それらの一部をご紹介します。

- ①婦人会には例年通りやぐらで踊って頂きましたが、今年は浴衣ではなく法被姿となりました。
- ②来賓挨拶: 酒井参院議員、大西衆院議員、神谷県議、細井県議、近藤副市長、蜂須賀市議
- ③今年は、盆踊りの開始前と休憩時間にマジックショーなどを充実させました。
- ④刈谷わんさか祭り盆フェスの一ツ木担当は炭坑節でした。



①婦人会はっぴ姿



②来賓挨拶



③マジックショー



④盆フェス炭坑節

荒井組の地蔵盆開催(8月24日 日曜日)



地蔵盆は地蔵菩薩の縁日(旧暦7月24日、新暦8月24日)に近畿地方を中心として盛んに行われ、関東ではあまり広まっていません。地蔵菩薩は親より先に亡くなった子供が賽の河原で苦しんでいるのを救うとの伝承があり、子どもの守り神と言われています。

地蔵盆は地域により内容が異なるようですが、荒井組では地蔵堂にお飾りをし、近所の方が地蔵さんにお菓子などをお供えし、そのおさがりを子どもに分け与えています。過去には大きな数珠で「数珠回し」をしていたと町内の方がおっしゃっていました。当日は地蔵堂で西福寺住職にお経(地蔵経)をあげて頂きました。